



東北大学

2011 年 2 月 14 日

報道機関 各位

東北大学大学院生命科学研究科

国際シンポジウム 2011
「生物多様性を測る ～企業で使える生態系サービス指標～」のご案内

東北大学生態適応 GCOE*では、2 月 17 日（木）に、東京・国連大学で「国際シンポジウム 2011・生物多様性を測る ～企業で使える生態系サービス指標～」を開催します。

2010 年名古屋において生物多様性条約締約国会議 CBD-COP10 が開催され、生物多様性の保全や持続的利用における企業の役割について世界の関心は急速に高まってきました。しかし、生物多様性の重要性をただ強調するだけでは具体的な取り組みは広がりません。そこには、生物多様性を経済価値として可視化する何らかの指標が必要です。

多くの企業にとっては、生物多様性それ自体ではなく、生物多様性が支えるさまざまな生態系サービスに着目するほうが分かりやすいため、生物多様性が損なわれることにより失われる生態系サービスを評価することで、事業活動に生物多様性保全を組み込むことの価値が可視化され、取り組みを促進する事に繋がると期待されます。

そこで生態適応 GCOE では、企業が生態系サービスに与えている影響、リスク、便益を図る定量評価手法に関する国際シンポジウムを開催します。今、世界ではどのような指標の開発が行われ適用が進んでいるかを事例とともに解説し、実際に企業がこれらの手法を使って事業計画に活かすにはどうすれば良いかを議論したいと思います。

生物や生態系の持つ力を活かしながら生態系の持つ機能（生態系サービス）を維持していく、生態適応科学の視点から、実社会での実践につながる「生物多様性を測る指標」について、あらためて考える機会として、広く一般の方々にご紹介いただきたく、ご案内させていただきます。なお、シンポジウム終了後、記者会見も開催する予定ですので、是非ご参加賜りたく、あわせてお願い申し上げます。

*1 GCOE (Global Center of Excellence) : 世界的に卓越した研究拠点

<記>

日時：2月17日(木) 10:30～17:30

場所：国際連合大学ウタント国際会議場 (東京都渋谷区神宮前 5-53-70)

主催：東北大学 生態適応 GCOE・環境機関コンソーシアム

共催：国際連合大学高等研究所、日経 BP 環境経営フォーラム

後援：環境省、経済産業省、持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD)

参加費：無料 (要事前登録) 同時通訳あり

【講演】

講演者：

■中静 透

東北大学大学院 生命科学研究科 教授

■James Griffiths 氏

持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD) エコシステムマネージングディレクター

■Tristan Tyrrell 氏

国際連合環境計画-世界自然保全モニタリングセンター(UNEP-WCMC) プログラムオフィサー

■Marco Lambertini 氏

バーライフ・インターナショナル CEO

■伊坪 徳宏氏

東京都市大学 環境情報学部 准教授

【パネルディスカッション】

パネリスト：

■杉本信幸氏 (味の素株式会社、環境・安全部 兼 CSR 部 専任部長)

■三輪 隆氏 (株式会社竹中工務店 技術研究所 主席研究員)

■前沢夕夏氏 (富士通株式会社、環境本部 環境企画統括部 プロジェクト課長)

■伊坪徳宏氏 （東京都市大学 環境情報学部 准教授）

■中静 透 （東北大学大学院 生命科学研究科 教授）

ファシリテータ：

■足立 直樹氏 （株式会社レスポンスアビリティ代表取締役）

（お問い合わせ・取材等のお申し込み先）

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学大学院生命科学研究科 生態適応 GCOE

担当：特任教授 竹本 徳子

電話番号：022-795-3637